

# 市道舗装の適切な 維持管理について

(建設水道常任委員会・所管事務調査報告)

平成30年3月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、各常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っております。

そこで、建設水道常任委員会としては、平成 29 年度の調査テーマを「市道舗装の適切な維持管理について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねた結果、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、その後の動きも含め、報告いたします。

## 1 現状及びテーマ選定に至る理由について

市道は、地域の生活や産業を支える社会基盤施設として、大きな役割を果たしている。

このような中、本市の市道の多くは、整備後40年以上を経過し、今後、舗装等の更新・修繕の重要性がますます高まるとともに、維持管理コストの増大が見込まれている。

そこで、本市では2車線以上の一部の路線については、修繕計画を作成し、計画的な更新等を行うなど適切な維持管理に努めているが、人口減少、少子・超高齢社会の進展に伴い、今後さらに厳しい財政状況が見込まれる中、2車線に満たない市道についても、修繕の優先順位等を考慮しながら計画的な維持管理を行うことが重要であることから、平成29年6月20日の委員会において所管事務調査テーマに選定しました。

## 2 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 平成 29 年 8 月 22 日 当局からの現状等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

市道における舗装の主な維持管理の方法として、道路パトロールによる日常点検や市民からの通報等により、道路の破損箇所等を修繕する道路維持業務を行っているほか、地元からの要望に応じて生活道路の維持修繕を行っており、これらに要する経費は、ほぼ一般財源を充当している。

また、舗装の長寿命化に向けた取り組みとして、平成 26 年 12 月に策定された高松市公共施設等総合管理計画を踏まえ、27 年度から 2 車線以上の幹線道路などを対象に、国の社会資本整備総合交付金を活用した舗装の修繕を行い、財源確保に努めている。

## (2) 先進地視察における調査項目の整理等

- ① 市道舗装の維持管理
- ② 市道舗装に係る修繕計画
- ③ 財源確保の方策等
- ④ 修繕履歴のデータベース化

## (3) 平成 29 年 11 月 21 日・22 日 先進地視察

### ○大分県大分市

- ・大分市舗装計画の概要について
- ・市道舗装の維持管理について
- ・今後の修繕計画について
- ・財源確保の方策等について
- ・修繕履歴のデータベース化についてなど

### ○鹿児島県鹿児島市

- ・背景、目的、市道の現況、舗装の維持管理費用の推移について
- ・路面性状調査の実施、結果について
- ・舗装維持管理の基本方針、舗装維持管理計画について
- ・財源の確保について
- ・修繕履歴のデータベース化についてなど

21日 大分県大分市



22日 鹿児島県鹿児島市



(4) 平成30年1月11日 先進地視察後の議員間討議・質疑応答

道路の幅員に応じた修繕基準の設定をすべきである、また、市民に対し説明責任が果たせるよう、市道の舗装修繕の効率的な実施に向けた優先順位の考え方を検討するべきであるなど

(5) 平成30年1月23日 取りまとめ内容の確認

### 3 委員会としての提言内容について

〔3月5日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

#### **(1) 舗装修繕の基準の明確化について**

- ① 市道の舗装修繕を効率的に実施するため、実現が可能で、かつ道路特性に応じた客観的な修繕基準を設けるとともに、道路の幅員に応じた修繕基準の設定を検討すること。修繕基準の設定に当たっては、MC I（舗装維持管理指数）や目視点検による評価のほか、道路の交通量、重要性・地域性なども考慮すること。

- ② スマートフォンを活用した調査など、他都市の事例等を調査・研究し、その導入可能性を検討すること。

## **(2) 舗装修繕の優先順位のつけ方のルールづくりについて**

- ① 舗装の劣化や損傷状況のほか、路線の役割、利用状況、地域バランスなど、市民に対し説明責任が果たせるよう、市道の舗装修繕の効率的な実施に向けた優先順位の考え方を検討すること。
- ② 地域性を踏まえ、総合センター等において舗装修繕に対応できるよう検討すること。

## **(3) 舗装修繕を行うための財源確保について**

- ① 幹線道路については、社会資本整備総合交付金を活用しているが、生活道路については、事業の重要性等を勘案し、新たな財源の確保に努めること。
- ② 舗装修繕に充当できる財源が限られていることから、低コストで実施可能な修繕方法等について、国・県の動向を注視するとともに、他都市の事例等を調査研究し、財源の有効活用に努めること。

## **(4) 舗装修繕履歴のデータベース化について**

市道舗装の適切な維持管理には、修繕履歴等の蓄積は重要であることから、効率的なデータベースのあり方を整理し、既存の各種データの活用など費用対効果を勘案した上で、舗装修繕履歴のデータベースの構築を図ること。